

令和8年度四街道市民大学講座 講義録

2026年9月1日(火曜日)第5回講座

『四街道地域の中世』

～鹿島川をめぐる城と水運～

講師：千葉市立郷土博物館研究員/千葉経済大学非常勤講師 遠山 成一氏

遠山先生は、大学を卒業後、企業勤務を経て公立高校の教諭を務め、退職後は敬愛学園高校非常勤講師として勤務されました。現在は、千葉市立郷土博物館研究員、千葉経済大学非常勤講師を務める傍ら、本市で市史編さん委員としてご活躍されています。

講義では、中世の北総地区は主たる武士団として活躍した桓武天皇の流れをくむ千葉氏や千葉氏から分かれた臼井氏などが勢力争いを続けてきた時代であったと説明していただきました。特に、古河公方・小弓公方の争いに関連し、四街道地域はどんな状況で如何に大切な拠点であったか、現在でも四街道市の地名となっている志津、山無(山梨)や小名(小名木)などの氏族がこの時代に活躍していた事、鹿島川を挟んで左岸、右岸に多くの城郭(山城)を配し、それぞれの氏族がどちらかの武士団に付いて領地などの拡大を目指して争いが絶えなかった事を解説していただきました。

今回の講座から、北総地区で中世に活躍した武士団の活躍ぶりを聞いて、郷土の歴史に想いを馳せ、現代の私たちがあるのだという認識を持てたことで、貴重な講座となりました。

